

施策名：犯罪に強い地域社会の確立

事業名	担当課・室名	ページ
地域防犯力強化育成事業	生活安全企画課・少年課	1 / 2
特殊詐欺被害防止総合対策事業	生活安全企画課	2 / 2

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	地域防犯力強化育成事業		事業期間	平成19年度～平成 年度		政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立	
				施策区分	犯罪に強い地域社会の確立			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	生活安全企画課・少年課		評価者	生活安全企画課長 佐藤 由布美、少年課長 足達 竜二	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	<p>刑法犯認知件数が13年連続で減少している反面、子どもや女性への悪質な声掛けやつきまとい事案が増加しているほか、少年非行の低年齢化や高齢者が事件事故の被害に遭う事案が後を絶たない状況である。</p>	事業の目的	<p>警察と学校との連携を一層強化し、非行防止・立ち直り支援・安全対策を充実するため、警察官OBをスクールサポーターとして県下に配置する。 また、子どもに対する声掛け事案や高齢者の行方不明・特殊詐欺被害等の発生状況等をタイムリーに情報発信することにより、被害の未然防止を図る。</p>
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①スクールサポーターの配置 非行防止等の専門知識を有する嘱託職員(警察官OB)による学校に対する支援・助言活動 (H28年中活動実績：面接・情報交換回数2,287回、校内外パトロール7,140回) ②防犯情報の提供 「まもめーる」配信による防犯情報の提供(平成28年中761回配信)	①	17,976	総コスト	29,904	30,154	31,067
	②	2,087	事業費	19,904	20,154	21,067
	③		(うち一般財源)	19,824	20,089	21,067
	④		人件費	10,000	10,000	10,000
	計		20,063	職員数(人)	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年	28年	29年	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価	
			目標値	実績値	達成率	目標値				実績値	達成率					
a	面接・情報交換回数(回)	90%	2,000	2,200	2,200											
			実績値	2,283	2,287											
			達成率	114.2%	104.0%											
	「まもめーる」情報配信数(回)	10%	427	508	510											
			実績値	650	761											
			達成率	152.2%	149.8%											

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年	28年	29年	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
			目標値	実績値	達成率	目標値		実績値	
a	刑法犯認知件数(件)	90%	5,220以下	5,060以下	4,910以下			定期的な学校訪問により、学校と警察との情報共有の役割を担うとともに、非行防止教室の実施、校内外パトロールの実施などにより、児童の非行防止及び安全確保に努めた。 また、平成28年中、761回の「まもめーる」配信を行い、声掛け事案や特殊詐欺発生情報等を県民に提供し、被害拡大防止を図った。	
			実績値	4,843	4,054				
			達成率	107.2%	119.9%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> スクールサポーターの受持ち区の範囲、学校数、業務量に格差がある状況 「まもめーる」については、現在、迷惑メールの増加に伴い、ドメイン指定方法が年々複雑化しており、登録者数は頭打ちの状況 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> スクールサポーター個々のスキルアップを図るための研修の実施 「まもめーる」の更なる普及促進を図るため、簡単に受信登録が可能なスマートフォンアプリの開発・運用 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	特殊詐欺被害防止総合対策事業		事業期間	平成27年度～平成29年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立	
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課(室)名	生活安全企画課	施策区分	犯罪に強い地域社会の確立	
					評価者	生活安全企画課長 佐藤 由布美	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	<p>刑法犯認知件数は年々減少傾向で推移する中、高齢者を中心とした特殊詐欺被害は、依然として高水準で発生しており、特殊詐欺被害に遭いやすい高齢者の抵抗力向上を図るための取組強化が課題となっている。</p>	事業の目的	<p>特殊詐欺の被害に遭いやすい高齢者の財産を守るため、高齢者を対象に犯行グループからの電話を遮断する機器の貸与を行うほか、被害に遭う可能性の高い高齢者宅を中心に電話オペレーターによるきめ細やかな注意喚起や広報用チラシ等を活用した効果的な広報啓発を実施することにより、県民の特殊詐欺に対する抵抗力の醸成を図る。</p>
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①注意喚起事業 高齢者等に直接電話で特殊詐欺の具体的手口を紹介して注意喚起を図る事業を民間コールセンターに委託 委託先：株式会社ホープ	①	11,861	総コスト	32,765	30,756	40,732
	②	4,728	事業費	17,765	15,756	25,732
②機材整備事業 「自動警告通話録音機」500台を高齢者世帯に無償貸与	③	1,914	(うち一般財源)	17,765	15,756	25,732
	④		人件費	15,000	15,000	15,000
③広報啓発事業 高齢者に注意喚起を図るチラシや金融機関窓口対応強化を周知するポスターを作成・配布	計	18,503	職員数(人)	1.50	1.50	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(29年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(29年度)	評価割合	評価	
	コールセンター注意喚起完了件数(件)	目標値		27,000	27,000	27,000		27,000	64%	チラシ・ポスター等配分数(枚)	目標値	71,200	281,200			240,000
	実績値		29,457	32,482			実績値	71,200			281,200					
	達成率		109.1%	120.3%			達成率	100.0%			100.0%					
自動警告・通話録音機初回貸与数(台)	目標値		500	1,000	1,500	1,500	26%									
	実績値		500	1,000												
	達成率		100.0%	100.0%												

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(29年度)	評価	事業の成果
特殊詐欺被害件数(件)	目標値		173以下	161以下	150以下	150以下	C	平成28年の特殊詐欺被害は、219件・約2億7,964万円(対前年比-7件・-約1億5,491万円)で、うち高齢者被害は、100件・約1億7,097万円(対前年比-24件・-約1億8,461万円)と大幅に減少した。しかし高齢者以外の世代の被害が増加したことで、総被害件数は7件の減少にとどまった。
	実績値		226	219				
	達成率		69.4%	64.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<p>・特殊詐欺総合対策事業等をはじめとする各種対策強化により、高齢者被害は減少しているものの、未だ被害発生が後を絶たず、引き続き、県民の抵抗力を高める対策が必要 ・アダルトサイト利用料請求名目に代表される架空請求詐欺等により、高齢者以外の世代で被害が増加しており、今後、これらの世代に対する対策強化が必要</p>	今後の方向性	<p>終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止</p>
		今後の事業方針	<p>・これまで実施している高齢者の被害防止対策は継続して実施 ・現在、増加傾向にある架空請求詐欺の被害防止を図るため、高齢者以外の世代に対する対策を強化</p>